

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

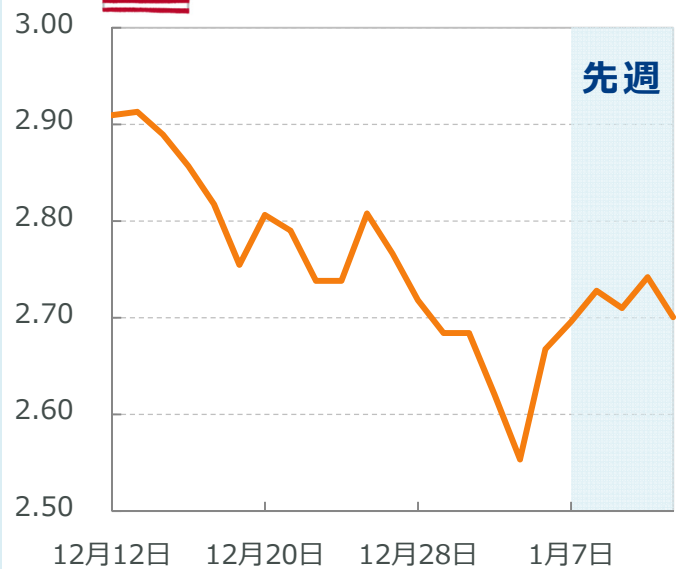
※データ期間は2018年12月12日から2019年1月11日（日次）

【2019年1月7日～2019年1月11日】

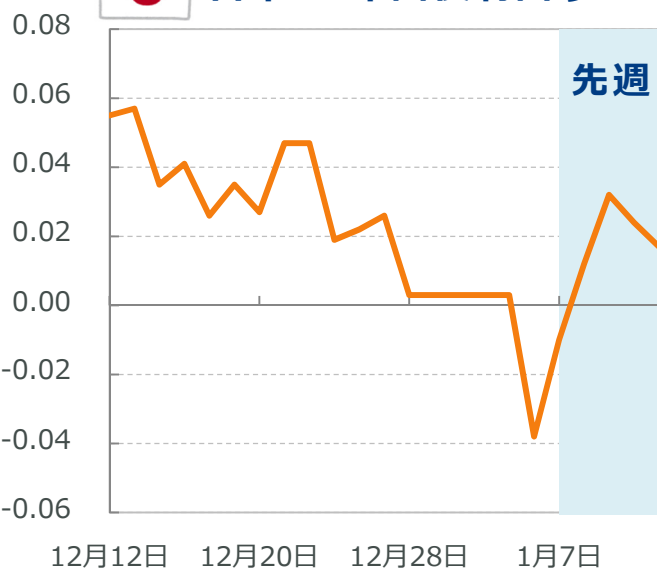
日米欧まぢまぢの動き

- ◆週前半は堅調な米雇用統計を背景に米株式が大幅に反発し、米国債は売られました。一方、週後半は米CPIの低下や米政府機関の閉鎖長期化などを手掛かりに米国債相場が反発し、米国債利回りは週間で横ばいでした。日本国債は米長期金利の上昇につられて利回りはプラス圏を回復しました。
- ◆欧州債は、域内各国による週間としては3年ぶりの大きさ（350億ユーロ強）となる新規国債発行が投資家の需要を集めて買いが優勢となりました（利回り低下）。

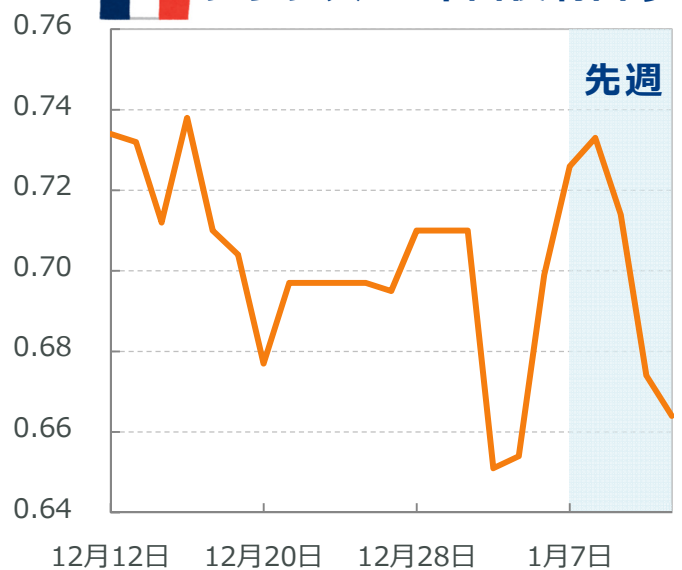
米国10年国債利回り



日本10年国債利回り



フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年1月7日～2019年1月11日】

米ドル、ユーロは横ばい

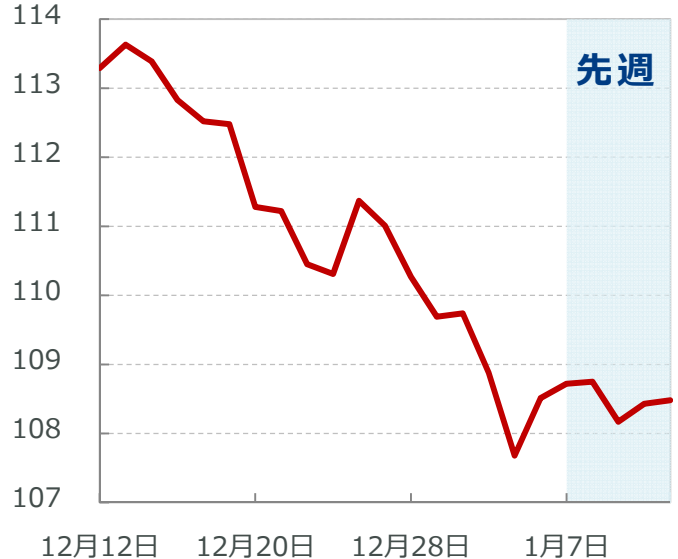
- ◆米FRB高官の発言やFOMC議事録などで追加利上げに慎重な姿勢が示されたことなどから米ドルは売られる場面がみられたものの、方向感に欠け週間では横ばいでした。
- ◆15日に英国のEU離脱を巡る英下院採択を控えて様子見ムードが続き、ユーロの値動きは限定的でした。

豪ドルは上昇

- ◆米中通商協議進展への可能性や好調な豪小売売上が豪ドルの支援材料となりました。

※データ期間は2018年12月12日から2019年1月11日（日次）

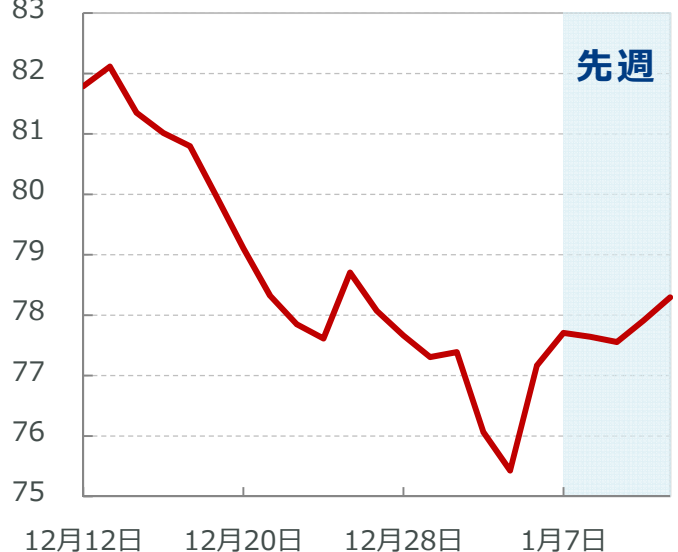
(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg 2/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。